



2022.8.15

3年ぶり、5千発の大輪夜空に

30回目の遠野納涼花火大会

体の奥底へと響き渡る大きな音とともに、夜空を彩る約5千発の花火——。8月15日、3年ぶりの大輪が遠野盆地を優しく照らしました。

30回目の節目を迎えた遠野納涼花火まつり（遠野納涼花火まつり実行委員会主催）は、早瀬川緑地グラウンド周辺を会場に実施。心配された雨は打ち上げ時に止み、「世界平和とコロナ禍終息」の願いを込めたビッグワイドスペシャルスターメインなど、多種多様な花火が空高く打ち上げられました。

花火翌日には、遠野中学生と関係者が朝6時から会場内の清掃活動を展開。同校は25年以上この活動^{やまと}を続け、花火まつりの運営を支えています。水内大和さん（遠野中2年）は、「花火はすごい音だった。清掃活動も経験し、影で頑張っている人たちがいるからキレイな花火が見れるのだと感じた。これからも地域行事やボランティアに積極的に参加しようと思える機会になった」と充実した様子でした。

花火大会には、302企業・団体、25個人からの協賛金5,901,890円と、市のクラウドファンディング型ふるさと納税で259人から寄せられた5,734,000円（令和2、3年分）も役立てられています。



30th Anniversary
祈念
世界平和とコロナ禍終息
遠野夢花火

1_ 鍋倉山から望む花火 2・4・6_ 早瀬川グラウンド周辺
の一枚。雨が散らつく中、多くの人が訪れ花火を楽しんだ
3・5・7_ 遠野中学生らによる花火翌日の清掃活動